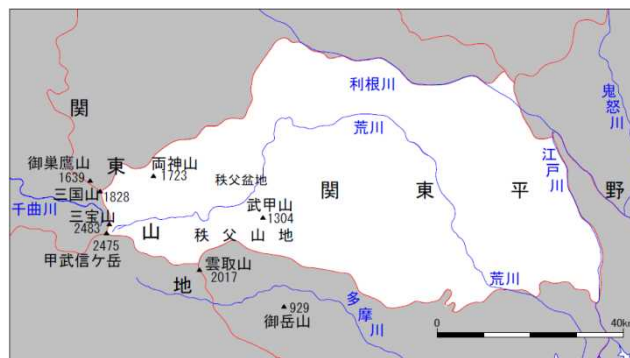
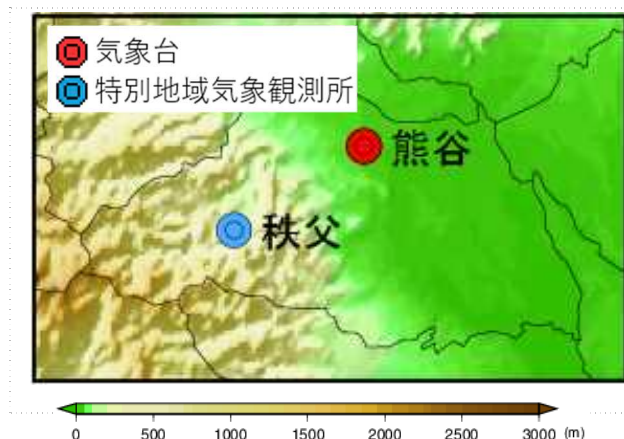


埼玉県



埼玉県の地勢

埼玉県は、関東平野の西部に位置する内陸県で、北は群馬県・栃木県、東は茨城県・千葉県、南は東京都・山梨県に、西は長野県に接している。県の大きさは、東西約 100km、南北約 50km、総面積 3,798km²(全国第 39 位)で台形に似た形をしている。

県のほぼ中央部を八王子構造線が北北西から南南東に走り、西側の秩父山地と東側の平野部に分けている。

秩父山地は関東平野西部に展開する関東山地に属し、埼玉県最高峰の三宝山(標高 2,483m)や甲武信ヶ岳(標高 2,475m)、雲取山(標高 2,017m)など 2,000m 級の山々を擁している。また、県の西寄りの山間部には秩父盆地がある。

秩父山地に源を発する荒川が県のほぼ中央部を東に流れて東京湾に注ぎ、県北端には三国山脈を源とする利根川が流れている。これら 2 河川の支流、分流が県内に多く、県面積の中で河川の占める割合(3.9%)は日本一となっている。

埼玉県の気候

埼玉県の気候は太平洋岸気候区に分類される。また、地形、標高等を考慮すれば、大部分は昼夜の気温差や、夏と冬の気温差が大きいという特徴を持つ。特に秩父地方では盆地や山岳特有の気候が加わる。夏は太平洋高気圧に覆われ、高温多湿な空気の影響で雲が発達しやすく、7月から8月に年間発生数の半分以上の雷が発生する。冬はシベリア高気圧から低温乾燥

した空気が吹き込むため、晴天の日が多く、空気が乾燥する。また、秩父地方では秋から初冬にかけて霧が多く発生する。

年平均気温は相対的に平野部で高く、山沿い・山間部で低くなっている。夏の日中は全県で気温が上昇することがある。冬は晴れる日が多いことから、日射により日中の気温は上がるが、放射冷却による朝の冷え込みも厳しいため、日較差は大きい。奥秩父では例年 1 月中旬頃には岩清水が凍って作り上げる三十槌の氷柱が巨大な氷の芸術として姿を現す。

埼玉県は全国的にみて風が弱い県である。冬は「秩父おろし」と呼ばれる西から北西の季節風が、夏は荒川沿いに北上する南から東の風の吹く日が多い。関東地方の内陸に位置するため、気圧の傾きが緩やかな晴天日には、付近の地形や関東地方の地形に影響された山谷風や海陸風が吹く。

降水量は県北部が最も少なく南ほど多くなり、秩父地方南東部で最も多い。秩父山地南東斜面では、湿った南寄りの風が吹きつけると降水量が増え、日降水量が 300mm を超えることもある。埼玉県では雷雨や台風の影響をうける 8 月から 9 月に降水量が最も多い。

地形データには USGS (アメリカ地質調査所) の GTOP030 を利用した。